日本食糧新聞社制定

第15回日食優秀食品機械資材・素材賞

3部門15製品決まる

7月9日、式典開催

日本食糧新聞社制定「第15回日食優秀食品機械資材・素材賞」の選考委員会が5月28日、東京・新橋の第一ホテル東京で行われ、機械部門6、資材部門5、素材部門4の計15製品が選ばれた。選考会には石谷孝佑委員長（日本食品包装協会理事長）のほか8人の委員が出席、各部門の候補製品を審議した。受賞式典は7月9日午後2時から、同じく第一ホテル東京で「第16回業務用加工食品ヒット賞」の贈呈式・祝賀会と併せて開催される。会場では受賞製品のパネル展示や、原田泳幸日本マクドナルドホールディングス代表取締役会長兼社長兼CEOの「明日を開く！マクドナルドの経営改革」と題した講演も行われる。（筒井実）

同賞は優秀な食品機械・関連資材・素材に顕彰と感謝の意を表し、98年に日本食糧新聞創刊55周年を記念して創設された。「機械」「資材」「素材」の3部門で、市場の活性化や技術革新において、食品業界の発展を支えた製品を表彰する。

「日食優秀食品機械資材・素材賞」の概要は次の通り。

▽「賞」制定の目的＝食品業界の発展は優秀な機械ならびに関連資材・素材に負うところが極めて大きく、品質とコスト面での競争力はこの分野で決定的な優劣を決するものとなる。このため、食品業界をバックアップする機械と資材・素材分野の力強い発展を期して、顕彰と感謝を表するため制定された。

▽選考方法＝各業界・関連団体の代表、学識経験者で構成する選考委員会を設け、受賞対象製品に関する資料を作成、委員による討議を行い、協議の上決定する。

▽選考基準＝①食品業界で新製品の創出に役立ち、コスト低減や効率化に寄与して販売を増進、業界の活性化に貢献している製品②新規性の高い商品の創出に役立っている製品③市場の各分野でリーダー的な食品を生み出し、食品業界に新しい発展をもたらしている製品。

選考委員

（敬称略）

▽委員長＝石谷孝佑・日本食品包装協会理事長

▽副委員長＝水口眞一・水口技術士事務所所長

▽委員＝西藤久三・食品産業センター理事長、栄祝正憲・ニチレイフーズ執行役員生産技術部長兼環境経営推進部長、瀬戸明・日清オイリオグループ常務取締役常務執行役員、西川秀美・日本食品添加物協会専務理事、馬場良雄・明治取締役常務執行役員、濱田孝司・キッコーマン食品執行役員商品開発本部長、丸尾俊雄・日清製粉グループ本社技術本部取締役技術本部長、今野正義・日本食糧新聞社代表取締役社長

受賞製品（部門別・五十音順）

機械部門

- デュアルエナジーセンサ搭載X線異物検出機　アンリツ産機システム
- i-STATION LINK2　イシダ
- 容器洗浄脱水装置　クレオ
- 新型無煙ロースター Jシリーズ　シンポ
- トーヨーロスナイ精米機　東洋精米機製作所
- チキン胸肉脱骨ロボット『イールダスEYE』　前川製作所

資材部門

- MR-PET（ボトル to ボトルリサイクル対応PET樹脂）　協栄産業
- ワイン対応ニューボトル缶およびスリムワインボトル　大和製罐
- Hot Magic Cup　東罐興業
- 無色透明ハイバリアペットボトル「GL-C」　凸版印刷
- マイソフトコンク　ニイタカ

素材部門

- 粉末しょうゆDN　キッコーマン食品
- J麺　群馬製粉
- のび～るとろりんチーズソース　田中食品興業所
- ニップンセラミドシリーズ　日本製粉

第一ホテル東京で行われた選考委員会

コラッ 信州そば

日本食糧新聞
日本食糧新聞社
東京都中央区八重洲1-9-9
東京建物ビル(〒103-0028)
www.nissyoku.co.jp
編集・広告03(3432)3103
購読03(3432)2927
東京都港区西新橋2-21-2
第一南櫻ビル(〒105-0003)
【支社局】北海道011(613)3912/東北022(225)2721/新潟・関東03(3432)5700/長野026(226)5520/静岡054(289)0802/中部052(571)7318/関西06(6314)4181/中国082(223)2535/九州092(291)1700
購読料 半年32,424円
(税込み・前納)
©日本食糧新聞社2012年

日本食糧新聞（2012年6月11日号）